

< 特集 2 > 民生委員の活動紹介



左上:民生委員の日PR活動 左中:スリーデーマーチパレード 左下:地区定例会での話し合い 中央上:全体研修 中央下:高齢者世帯調査での訪問 右上:児童登下校見守り 右下:福祉施設への視察研修



※今回掲載したものは、活動の一部になります。

◆民生委員・児童委員が新たに委嘱されました

令和6年7月1日付けで、民生・児童委員2名が新たに委嘱され、森田光一市長から委嘱状の伝達を受けました。他の委員と力を合わせ、地域の皆様の良き相談役となれるよう頑張っまいますので、皆様のお力添えを何卒よろしくお願いいたします。

氏名	担当地区	所属民児協
小川 博美 さん	市の川2区、3区の一部	松山第三地区民児協
小澤 悦子 さん	下唐子2、3	唐子地区民児協

◆表彰されました

●東松山市 市政功労者表彰（退任者含む）

金杉 明さん

清水 悦子さん

●埼玉県民生委員・児童委員協議会会長表彰

（優良民生委員・児童委員協議会表彰）

大岡地区民生委員・児童委員協議会

◆地域福祉協力員制度をご存知ですか？

地域福祉協力員制度は、区域が広範であるなど民生委員一人で活動することが困難な場合に、民生委員を補佐するために設置しています。主な活動は、民生委員と調整の上、見守りや訪問などを行うことです。

現在、市内では28名の地域福祉協力員が活動しています。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、民生委員活動を支えていますので、民生委員・児童委員共々、よろしくお願いいたします。



市ホームページ

東松山市民児協だより お元気ですか？民生委員・児童委員です No.24

発行者 東松山市民生委員児童委員協議会連合会 会長 金杉 明

問合せ 事務局（東松山市社会福祉課） 電話 21-1408（直通）

◆市ホームページでバックナンバーを御覧になれます。

<http://www.city.higashimatsuyama.lg.jp>



東松山市民児協だより No.24

お元気ですか？民生委員・児童委員です。

東松山市民生委員児童委員協議会連合会 令和6年11月1日発行



■ごあいさつ

大塚 敏郎（おおつか としろう）さん
唐子地区民生委員・児童委員協議会 会長

我が国は少子高齢化に歯止めがかからず、生産年齢人口も減少と、将来不安な問題もある中、平均寿命はコロナ禍を除いて毎年伸びています。私達民生委員・児童委員は、児童を見守り成長を喜んでいますが、長寿に対してはうれしいことと喜んでばかりではおられません。元気に生活できる健康寿命が延びてこそ喜ばしいこと。高齢の皆さんが体を動かし、頭脳を働かせて気力体力の保持に努め、フレイル状態を遅らせることに日々心掛けている姿を見ると、訪問活動等で私達にも新しい発見があり、お互い前向きになれる。

ところで近年、地球温暖化に伴う異常気象等によって、思わぬ災害の発生が目立つようになりました。「こんなはずでは」と、思わぬ心配をする事も多くなり先行きに不安を感じますが、また明日頑張ろうと気持ちを切り替えるとともに、少なくとも「自分の身は自分で守る」を念頭に行動したいものです。

とは言っても他人の助けを借りなければならないこともあります。その時最も頼りになるのはご近所さんです。日頃は簡単な挨拶程度でも、いざという時大きな安心感につながります。

自助、共助、公助と様々な助けがありますが、最も身近なのは近助（近所）です。私達民生委員・児童委員は、関係するところに「つなげる、つながる」を心掛けています。お気軽にご相談ください。

< 特集 1 > 民生委員・児童委員インタビュー

皆様に民生委員・児童委員のことをもっと知ってもらうため、インタビューを行いました。

ー島田さんは今期で1期目、芳賀さんは5期目、八頭司さんは2期目ということで、年数はそれぞれ違いますが、民生委員になったきっかけを教えてください。

島田さん 私は退職するまでは市内で教育関係の仕事をしていました。そこで民生委員さんとの連絡会が数回あって、お話を伺う機会があり、皆さん大変素晴らしいお仕事をなさっているなと思っていました。退職して3年目に、それまで活動していた民生委員さんが任期満了でお辞めになるので代わりを探していて、ちょうどタイミングがいいとお声がけいただきました。はじめは固辞したのですが、1期ならということでお受けすることにしました。ただし、フルタイムで働いていたので本当に地域のことを知らなくて。民生委員として何をしたいかわからなかったで、まず高齢者訪問から始めているところです。

芳賀さん 夫が他界して、私は家で仕事をしていたのですが、その仕事もみんな辞めてしましまして、何もすることがなくなってしまったのです。何か仕事すればよかったのですが、もう何十年も仕事してきたので、もういいやと思って。

【次ページへ続く】



（左から）

●島田 邦子（しまだ くにこ）さん

唐子地区民生委員・児童委員協議会所属。現在1期目。

●芳賀 やす子（はが やすこ）さん

高坂地区民生委員・児童委員協議会所属。現在5期目。

●八頭司 トシ子（やとうじ としこ）さん

野本地区民生委員・児童委員協議会所属。現在2期目。

（**続き**）そんなとき、地域のウォーキングやパン教室に参加したのですが、そこに民生委員の方がいたのです。民生委員のことは知っていたのですが、いざ自分にやってくださいって言われるとねえ…。3回お断りしました。4回目に、こんなに頼まれては仕方ないなとお受けして、今は13年目になりました。

八頭司さん 夫が亡くなりまして、1人になってしまったとき、よく民生委員さんが「元気？」と訪ねてきてくれて、こういう風に1軒1軒訪ねて交流するのはすごくいいことだなというふうに思っていました。自分でなろうとは思っていなかったですけどね。芳賀さんのように、町内の行事に参加して、地域の方々と顔見知りになるうちに、町内会長さんから声が掛かりました。びっくりしましたが、以前よくしてくれた民生委員さんのこともあったし、お受けすることにしました。やはり1回目は断りましたけどね。その場でハイとは言えないですよ。

－**民生委員の活動の中で、やりがいを感じたことを教えてください。**



●島田 邦子（しまだ くにこ）さん

島田さん 身近なことで相談を受けたときなど、困っている方の力になれたときにやりがいを感じます。例えば、訪問先で買い物に行くのが大変という話をしたときに、今こういう制度やサービスがありますよと紹介すると、そういう制度があるのなら利用してみたいというような話が出たりします。私の地区からはスーパーマーケットに行くにも3キロ4キロはあるので、遠くて大変。とてもじゃないけど歩けない。そういう大変さを自分でも実感しているので、まだ民生委員の経験は浅いのですが、自分がお伝えしたことで喜んでもらえたりすると、大きなお世話かなと思いつつもうれしいですね。高齢者向けのサービス、例えば、緊急通報装置のことを案内したところ、利用を検討してもらえるようになったときも同じですね。あとは、お祭りなど地域の行事の際に、住民の方から「お元気？」と声をかけていただけるのが、以前はご近所の方だけだったのが、遠くの方からも言っていただけになって、地

域に顔の見える関係が根付いているのを感じられたときもうれしいですね。



●芳賀 ヤス子（はが やすこ）さん

芳賀さん 私の担当地区の方から、市外に住んでいる弟さんを東松山市内の施設に入所させたいという相談を受けまして、地域包括支援センターを紹介しました。お兄さんが連絡をとったところ、市外なので心配していましたが、施設の方がとても親切で、状況を伝えたところすぐに探しますと言っていただけたそうです。それから2週間くらいで入所でき、とても喜んでくださいました。これは最近の話です。それから数年前、ご近所トラブルについての相談でお話を伺ったところ、認知症の疑いのある方で、やはり地域包括支援センターを紹介しました。そして息子さんともいろいろお話した結果、病院を受診して認知症だということがはっきりわかり、解決したということです。お電話いただいて、ああ良かったなあと感じましたね。お話した事例のように、がっぴりかみ合って解決したケースは、本当によかったと思います。

八頭司さん 私はやはり自分が訪問してもらってすごくうれしかったので、訪問した時にありがとうと言われることがとてもうれしいですね。ある方から相談を受けて、そのお宅に行っているとお話をし、市の方に連絡して解決したのですが、私にまず相談してくれたことはうれしかったです。また、町内行事にもかなり参加しています。そこで担当している区域の人たちとお会いして話ができたりすると、だいぶ視野が広がったなと感じます。私もプライベートでは体力的にもあちこちには行けませんが、民生委員をやっていると、ごめんくださいってお声かけできますからね。あと月に1回、未就園児とその保護者が参加する育児サロンを行っていて、これはとてもやりがいがあります。あともう一つ、朝のこども見守り隊です。疲れている日は休みますが、お願いしますと言われるとうれしいので、頑張っています。もちろんこどもを注意することもあります。逆にこどもから「おばちゃん、危ない」って言われることもあります。まとめると、本

当に民生委員のおかげで視野が広がったということです。人のためにやっていることが、実は自分のためなんだなと思いつつ活動しています。

－**活動の中で苦勞したことはありますか。**

島田さん 苦勞と言えるかわからないのですが、訪問のときに、高齢の方でもお勤めしていて、例えば平日は不在の方とか、なかなか訪問してもお会いできない方がいるので苦勞しています。なかなか自分の都合で回れないのが大変ですね。また、訪問で一番困るのが、夏の暑さです。訪問に行きたいのですが、涼しい時間となると早い時間か遅い時間になってしまうので、夏場の訪問は難しいです。あとは、いろいろ地区の行事になるべく参加したいなとは思いますが、どこまで参加したらよいか、これは顔出しした方がいいのか、しなくてもいいのか、という線引きに悩みます。また、言葉遣いも難しいです。ざっくばらんな方もいれば、一歩引かれるような方もいて、距離感も人それぞれですからね。

芳賀さん 確かに、お話しする時の言葉選びには気を遣いますね。私の言ったことで嫌な気持ちにさせるといけないので。あまり話さないと「芳賀さん最近しゃべらないわね」と言われてしまいますし、難しいです。

八頭司さん 島田さんもおっしゃったように、留守のお宅が多いですね。相手の都合に合わせて訪問するのは、特に夏場は本当に難しいです。訪問を迷惑だと思う方もいるようで、インターフォン越しに元気ですって答えてくればそれだけでいいと思っています。大抵の方は、みなさん喜んでくださるのですけどね。

－**ふだん気を付けていることと、これから力を入れたいことを教えてください。**

島田さん 相手の話の内容について、守秘義務には気を付けています。それから行事に参加できるときは参加して、地域の様子を伺うように気を付けています。これから力を入れたいことは、先ほど八頭司さんがおっしゃっていた、こどもの登下校の見守りですね。自分の健康のため、運動のためにやろうと思っています。あとは地域のためにできることが何か、これからも相手の求めに応じて、重荷にならないように活動できたらいいなと思っています。



芳賀さん 誰にでも挨拶することですね。通りすがりの人にも挨拶をします。すると、大体の方は返して

いただけます。知らんぷりはしないですね。あいさつ運動もやっています。こども食堂については、もう始めて7・8年になります。対象がこどもだけに限らないので、「こども食堂」という名前は使わず、「夕やけ広場」という名前を付けました。最初のころは食事だけではなく、卓球などの運動もやっていたので大変でした。今考えてもよくやったと思います。こども食堂の方は毎月やっていたのですが、大体は決まったお子さんが来ていました。それがここ最近、あまり顔を見ないお子さんが、お父さんお母さんの分の食事までもらっていくということがありました。そういう時代になったのだなと思いましたね。今は、お年寄りのことを何とかしようと考えてやっています。結構人は集まります。カレー100食どころではなく、150食くらいは出ますね。食中毒が気になるので、そこで食べていってくださいとお願いしています。お茶飲み広場は、お茶とお菓子を用意して、そこでおしゃべりしていただく場で、これも50人くらいの方が集まります。みなさんおしゃべりがしたいみたいですね。これからもこの活動を頑張っていきたいと思っています。



●八頭司 トシ子（やとうじ としこ）さん

八頭司さん 私も守秘義務には気を付けています。救急車が来たときにも、どこの家に停まったのか、やはりとても気にしますね。あと、町内の行事やシニアの行事にはなるべく参加するようにしています。その方の情報が入るので。あとは地域福祉協力員とはよく連絡を取るようにしています。これから力を入れたいことは、現在行っている朝の通学班の見守りです。朝7時30分から8時15分頃までですが、自分の膝の痛みも、朝から歩くせいか、むしろだいぶ良くなりました。あとはスマイルカフェですね。地区の民児協で月1回やっているものですが、これも続けていきたいと思っています。もしもの時に備えて、一人暮らしの方を常に意識をしています。災害時の対応は民生委員の大事な役目ですよ。

－**ありがとうございました。**